

# 原点回帰

—荒川修作+M・ギンズ・岡崎和郎・宮脇愛子— H氏コレクションから—

# 聖地巡礼

## Nāgi MOCA

2022年9月10日(土)—10月23日(日)

奈義町現代美術館ギャラリー

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日：月曜日、祝日の翌日

(9月19日休、10月10日休は開館、9月20日休、10月11日休は休館)

入館料：一般・大学生200円(高校生以下・75歳以上は無料)

※常設展と一緒に求めの場合は通常入館料700円をご覧ください。

主催：奈義町現代美術館

〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢441 Tel.0868-36-5811 Fax.0868-36-5855

nagimoca@town.nagi.okayama.jp <http://www.town.nagi.okayama.jp/moca/>

奈義町現代美術館公式Facebook

◎関連企画 コレクターによるトーク・イベント

10月1日(土) 午後2時～3時 入館料別途必要

奈義MOCAに関する作品コレクションについて、その思いや魅力を語っていただきます。

■同時期開催：ミュージアム×ナイト 奈義MOCA2022

9月24日(土)「山下真未 映像インスタレーション」

10月2日(日)「第29回奈義MOCA観月会

伊藤志宏 cello variation ～十三弦の奏を秋夜に献ずる～

※共に要予約

◎学芸員によるギャラリートーク(会期中随時)

ご希望の方に学芸員が作品解説をいたします。

学芸員不在の場合もごさいますのでご了承ください。

※本展覧会は、新型コロナウイルス感染症防止対策を充分にとりながら開催します。

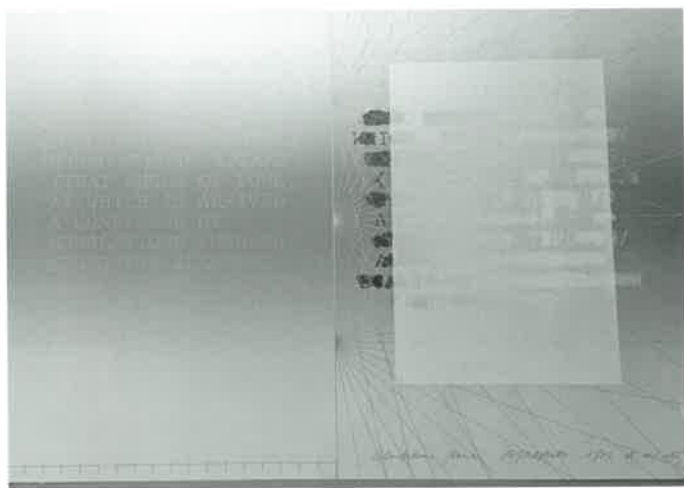


上：荒川修作「Blankless Tone」(部分) 中：宮脇愛子「Work#37」(部分) 下：岡崎和郎「ウインクリング」

# 原点回帰 聖地巡礼

奈義町現代美術館 (Nagi MOCA) は、今年で開館28年目を迎えました。1994年に建築家・磯崎新 (1931-) プロデュースによって、荒川修作 (1936-2010) + マドリン・ギンズ (1941-2014)、岡崎和郎 (1930-2022)、宮脇愛子 (1929-2014) と同世代による3組の国際的なアーティストが選定され、その作品が展示室「太陽」・「月」・「大地」と名付けられた部屋に半永久展示されています。

本展では、各展示室内部の常設作品を制作したアーティストたちと深い交流があったコレクターが所有する豊富なアート・コレクションの中から、3組のアーティストに関する貴重な作品群を厳選し、一堂にまとめた形で初めて展示します。30周年を目前にした奈義MOCAの魅力の一端を読み解いていく機会になることを願っています。



荒川修作「Blankless Tone」(部分)

## 荒川修作 + マドリン・ギンズ

Shusaku, ARAKAWA + Madeline, GINS

荒川修作 (1936~2010) 名古屋市生まれ。マドリン・ギンズ (1941~2014) ニューヨーク市生まれ。荒川は50年代後半より「ネオ・ダダイズム・オルガナイザー」のムーブメントに関わる。61年ニューヨークに渡米。M・デュシャンと出会う。62年にはパートナーとなるM・ギンズと出会い、『意味のメカニズム』プロジェクトを開始以降、二人の共同作業が活動の中心となる。代表作に、「養老天命反転地」「三鷹天命反転地住宅-In Memory of Helen Keller-」「Bioscleave House (バイオスクリープ・ハウス)」など。

**交通機関ご案内**

- 岡山駅より約2時間30分  
JR岡山駅(津山線)→津山駅(バス、タクシー)→美術館
- 岡山桃太郎空港より約2時間  
岡山桃太郎空港(乗合タクシー)→津山駅(バス、タクシー)→美術館
- 大阪駅より約3時間  
大阪駅JR高速バスターミナル発、新大阪駅経由  
→美作インター停留所(バス、タクシー)→美術館



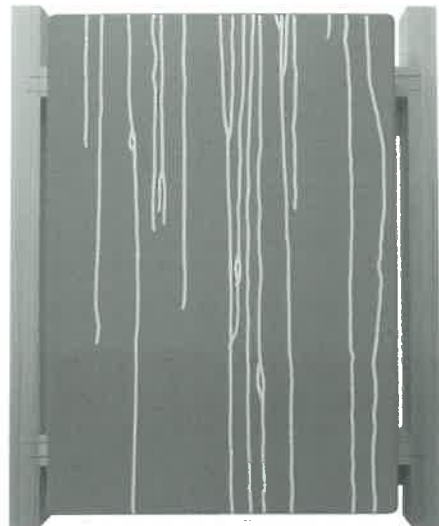
# 奈義町現代美術館



宮脇愛子「Work#37」

## 宮脇愛子 Aiko, MIYAWAKI

1929年東京都生まれ。日本女子大学文学部史学科卒業。阿部展也、齋藤義重に師事。1959年よりミラノ、パリ、ニューヨークなど滞在展覧会を開催。独自の平面作品を発表。1960年代後半には、真鍮パイプを使った彫刻作品、ガラスの『メグ』作品を制作。1980年より彫刻の量感から解き放たれる様な、ステンレスワイヤーによる曲線を表現した「うつろひ」彫刻作品を世界各地に設置。グッゲンハイム美術館賞、カタロニア美術評論家賞、フランス芸術文化勲章など受賞。2014年死去。



岡崎和郎「黒い雨によせて」

## 岡崎和郎 Kazuo, OKAZAKI

1930年岡山市生まれ。55年早稲田大学文学部芸術学専攻卒業後、同大学院で美術史を学ぶ。56年頃より鉄の彫刻を制作。58~63年読売アンデパンダン展出品。66年東京画廊で初個展。63年頃から「御物補遺(ぎよぶつほい)」という概念をもとにした作品制作を続けている。89年より毎年横田茂ギャラリーで「HISASHI」を中心に個展を行なう。2022年7月に死去。



2022 8/27 ≫ 12/4 ≫